
よくわからないが

妖暇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

よくわからないが

【コード】

N1338U

【作者名】

妖暇

【あらすじ】

どうやら私は時間が飛べるようなんです。

だからと言ってどうしたとか、どうするとかを決めてるわけでもなく。

とりあえず私が後悔しないでいたいなという程度。

さて、本当にどうしましょうか

昼食は日替わりランチ

私はなんだか時間を飛べるようだ。

まあこれは、俗に言う世間知らずの自分を主張する認めて欲しいですよ、的な少々痛い発言をする人に属される。

もちろんこの事を周囲の人に言えば、の話だ。

どうやら私は昔、いや、小さな頃から”それ”つまりは、時間を飛ぶ事が出来ていた様なのだ。

前々から何か可笑しいと感じていた。

勿論最初は、体感時間のせい、気のせい、周りもそんななんじやね？的な投げやりに余り気にもせずに。

今日の事が起こるまでは。

実は今日、昼食を食べ終えて外回りに行っていて帰る途中に私、普通に車に轢かれたんです。

あつ、俗に言う交通事故です。よくある不注意によって結構なスピードで曲がってきた車さんに轢かれました。

駅が近かった割にあんまり人通りの多い道じゃなかったしね。

車にガンって、いやー、モノの見事に吹っ飛ばされて、コレ、即死でない？って感じでドハッといういろ、ね、

え？

ね、じゃなくない？

てか何でそんな他人事なんだって？

わー、なくないとか歳感じでしまいますね。

あつ、すみません。話の内容が違いましたよね。

たぶん、皆さんの御察しの通りどうやら私は時間を飛んだ様なんです。

え？前フリ長えから短く纏めろって？

うーん、せっかちなんですね、

まあ、とりあえず私は車に轢かれたー！

と思ったら昼食を食べてたお店に居たんですよ。

いや、この場合現在進行形で食べてる。

のが正しいのでしょうか。

普通に腕時計をみたら日にちと時間がアラ、不思議。
戻ってます。

念のため今携帯電話でメールと着信履歴を見るとアラ、不思議。

10分後に上司からあの現場を通る現場に向かいなさいなー、5分
以内に（笑）って言う指示が来るんですよ、どうしますか。

4

あれですよ、連絡が来ないように祈るとか、電源切っちゃうとか、
このお店に携帯電話放置とかで万事解決ですよ。

と、言うより最後に会話（電話）した人が上司とか泣きたくなりま
すよね。

あー、こう言う時こそ彼女ほしー

ってやつですよ

さて、本当にどうしましょうか

昼食は日替わりランチ（後書き）

さて、主人公？の職業は何か

でも、どんな職業でもスーツ姿って格好良いですよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1338u/>

よくわからないが

2011年10月5日18時44分発行